

イメージングが解き明かす関節の不思議

3D imaging of the synovium defines an immunological defence system
at the blood-joint barrier

日時：2026年3月24日（火）

17:00～18:30

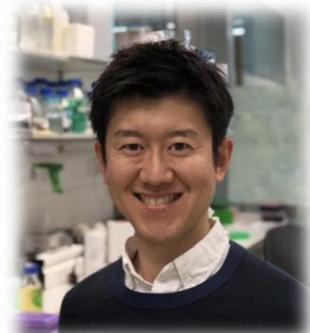
場所：外来診療棟4階 A講義室 + WEB

長谷川 哲雄 先生

Tetsuo Hasegawa, M.D., Ph.D.

ケンブリッジ大学医学部

分子生物学研究所免疫学ユニット・グループリーダー



<https://us06web.zoom.us/j/85691008664?pwd=81zsDBGS35V4lisdD4fahLDL4dRSKeD.1>

ミーティング ID: 856 9100 8664

パスコード: 233746



関節の痛みや腫れは、関節リウマチに代表される炎症性関節疾患に限らず、数多くの自己免疫性疾患や、感染性腸炎といった他臓器の感染症にも随伴する代表的な症状である。しかし、なぜ関節がこれら多様な全身性疾患に影響を受けやすいのか、関節のどの部位からどのようにして炎症が始まるのか、侵害受容器と免疫細胞にどのような連関が存在するのか明らかでない。本講演では、関節を三次元的に撮影することで得られた神経免疫連関のメカニズムについて紹介すると共に、日英における研究環境の相違について私自身の経験を皆さんと共有したい。

【参考文献】

1. Hasegawa T*, Lee C.Y.C., Hotchen A.J. *et al.* Macrophages and nociceptor neurons form a sentinel unit around fenestrated capillaries to defend the synovium from circulating immune challenge. *Nature Immunol*, 2024, 25:2270–2283.
2. Hasegawa T, Kikuta J, Sudo T, *et al.* Identification of a novel arthritis-associated osteoclast precursor macrophage regulated by FoxM1. *Nature Immunol*. 2019 Dec;20(12):1631-1643.
3. Hutton J, Sun W and Hasegawa T*. The ontogeny of synovial tissue macrophages. *Front Immunol*, 2025 16:1603473.

【コーディネーター】免疫学分野 教授 菊田 順一

【主催】メディカルトランスフォーメーション研究センター(CMX)

【連絡先】研究支援課研究企画係 内線: 5189, E-mail: k9shien@med.kobe-u.ac.jp